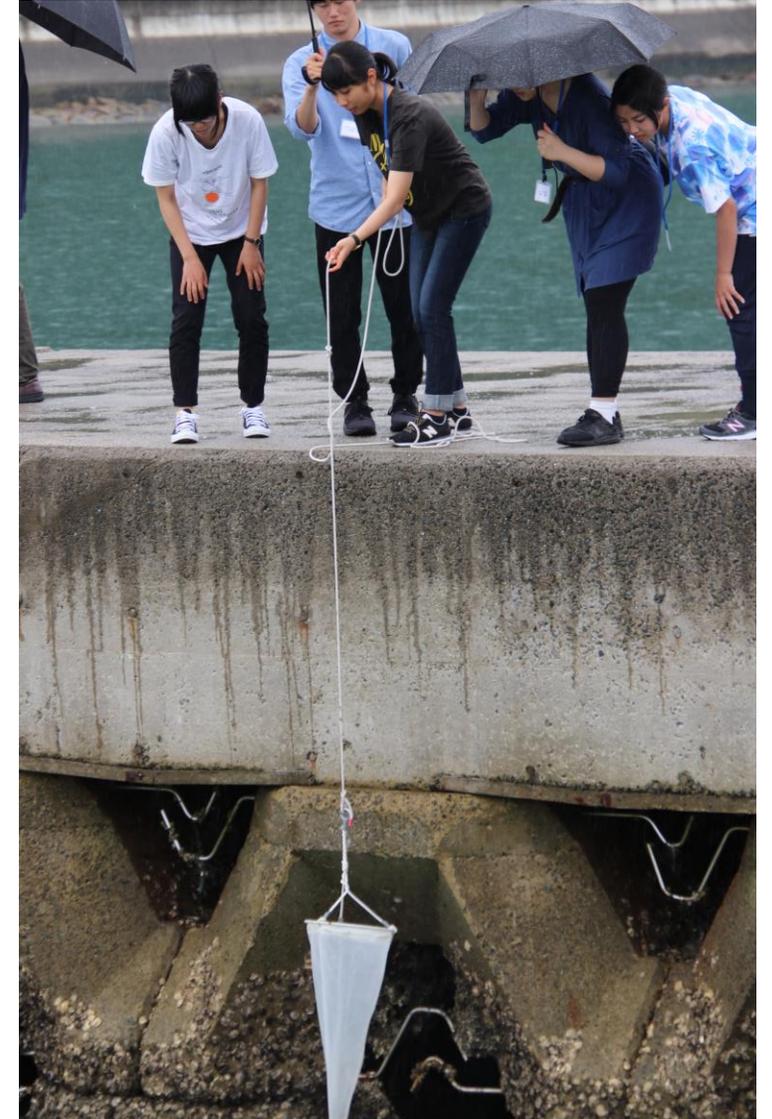
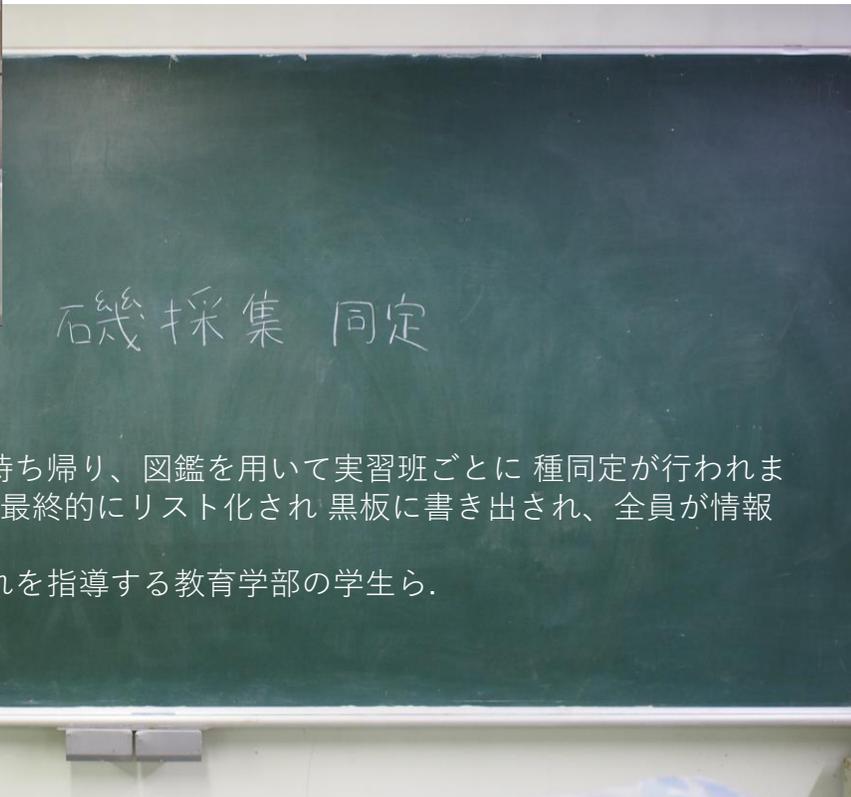


2019年（令和元年）7月14（日）から15日（祝月）にかけて、  
広島大学 教育学部の学生・教員に加え、広島県内の高校生が竹原ステーションに来所し、実習を行いました。



広島大学 教育学部の学生らによる模擬授業風景. 先週の実習で自らが経験した内容を高校生に対して指導しました.  
これらの写真はプランクトン採集、および顕微鏡を用いたプランクトン観察の授業風景.  
本施設は様々な実習に使用することができます.

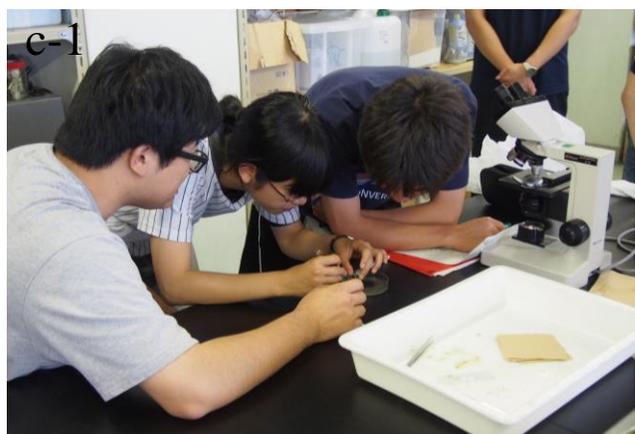
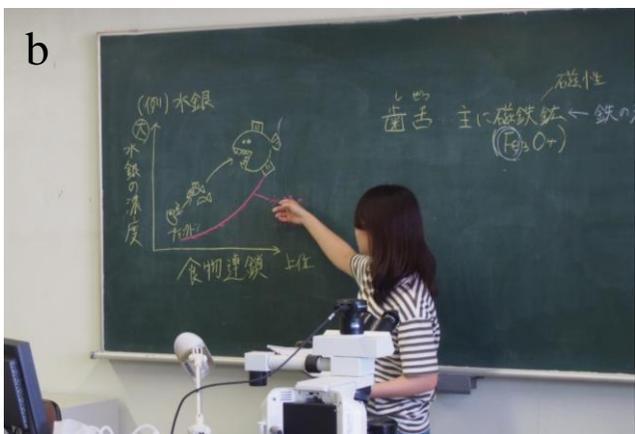


磯で採集された生物を実験室に持ち帰り、図鑑を用いて実習班ごとに種同定が行われました。採集された生物の種名は、最終的にリスト化され黒板に書き出され、全員が情報を共有しました。  
写真は種同定を行う高校生とそれを指導する教育学部の学生ら。



2日目朝より、高校生に対しムラサキウニを用いた発生実験の授業が行われました。  
 本実習期間中の模擬授業はすべて、“図を板書する”など、それぞれ工夫された「分かりやすい授業」が行われました。





- a-c. 教育学部学生らによるヒザラガイ解剖の授業風景.  
d. 教育学部学生らによるプロジェクターを用いたプランクトンの説明.  
e. 高校生らと教育学部学生らによるウミホタル採集風景.  
f. 広島県内の高校生、広島大学教育学部の学生、および本実習を担当した本施設スタッフ.